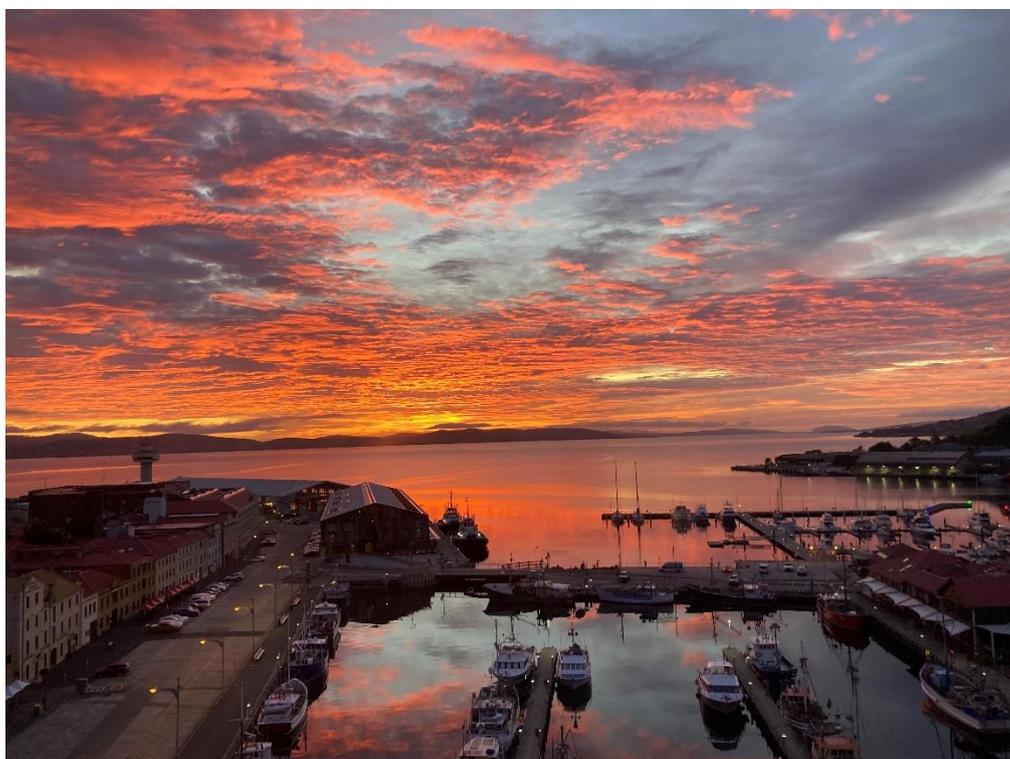


令和 5 年 12 月 4 日 メルボルン交流抄

「日本に旅立つ 2 頭のタスマニア・デビル」

令和5年4月11日の交流抄で取り上げたタスマニア・デビルの続編です。

先日、タスマニア政府から、今度、日本に行く予定のタスマニア・デビルを選定したので、お見せしたいとの連絡がありました。早速、タスマニアのホバートに向かいました。ホバートは風光明媚な港町です。そこで美しい朝焼けを見てから、タスマニア・デビルが飼育されているクレーシーの保護センターに向かいました。



このセンターには 60 数頭のタスマニア・デビルが保護されています。その中の 2 頭のメス(ともに1才)が日本の多摩動物公園に行く予定です。この日はあいにくの雨のため、外を走り回る姿は見るができなかったのですが、少し眠そうな可愛い顔は拝見することができました。絶滅危惧種であるタスマニア・デビルのことをもっと世界で知ってもらいたいという目的で、オーストラリア政府がアンバサダー・プログラムと称して様々な国にタスマニア・デビルを送っています。日本も対象国の一つです。この交流を通じて日本とタスマニア州との関係、そして日・オーストラリア関係がより一層緊密になることを願っています。最後に、この 2 頭のタスマニア・デビルに、次は日本で会いましょう、と声を掛けて帰路に着きました。



